

## 子供は心を正直に體を丈夫に

文學博士夫人 松 本 蓮 子

私共には只今日白女子大學に在學中の娘を頭に下は三歳になるのまで、八人の子供がごぞいます。育兒法などと今時の新しい學理は少しも存じませぬもので何も皆様の前で申上げるやうな事はごぞいませんが、八人も育てゝゐる上から、何かご日常氣にごめた事でもお話し致しませう。

長女は今申した通り女子大學で、次は今年水戸の高等學校に入學致しましたし、其下はお茶の水高等女學校に、他は大塚高等師範附屬に、末の二人だけが未だ學校にまゐらず家庭に居ります。長女は、私共が大正二年まで京都に居りましたので、其處で小學を終へました。只今は大分様子が異つて居りませうが、其の時分の京都は女學生の姿等も、日和下駄等をはき、東京とはくらべものになりませんので、奥様方は「女學生もあんなでは小間使ひみたいでいやでございますね、等ごハイカラな方は云つて居られる程でございましたから、どうかして女學校は教

育の進んでゐる東京でさせたいと望んで居りましたが、ちやうど上京するやうになりましたので、宅から近い竹早町の高等女學校に通學させるやうになりました。それから女子大學に進ませたのでございませぬ。

長女の方はさほど育てますのに苦心も入りませぬでございましたが、古今水戸の高等學校に居ります長男は、身體が餘り健康でなかつた爲、一方ならぬ心配を致しました。小學へ入學しましてから尋常三年頃までは、何と申しますのか、學校へまゐりますと頭痛がして顔色が悪くなり、又一週間に一度位は朝飯に頂いたものがその儘消化されずに通じたりすることがありまして、學校で勉強するのは好きなのでございましたが、こんな體具合で常に缺席がちでございました。お醫者に見せませすと、腦に少く故障もあるやうだし、又胃腸も弱いと云ふ事で、私も心配は随分致しました。それで夏休みには、身體の方

を氣づかひながらも、遅れたところの補習で大變でございました。しかし三年生頃になりますと、年齢も進み體も整つた爲か、次第に健康になりましたし、後になつて扁桃腺を手術しましたので腦もよくなりました。身體がこんな風でございましたから、氣性も幼い頃は沈んで居りましたが、身體が健全になるにつれまして快活になり、京都から東京に移りましてからは、東京の學校が京都等よりはいき／＼としてゐたためもありませう、大變丈夫に快活になりました。只今はもう十八でまづ普通にすゝんで居りますものゝ身體の虚弱な子を學校を一度も遅れさせずに注意しながら育てますのは、可成り苦心なものでございます。

子供達の中で幼稚園に御厄介になりましたのは、餘りございませんが、私自身の考へございましたは矢張り幼稚園に通學させました方がよからうと存じます。宅の子供は、近頃幼稚園の入學者が増しましたのでくじ引きにもれましたし、又考へて見れば家庭そのものが幼稚園のやうににぎやかでございますから、遊び友達もありますので、つひ其の儘になつてしまひました。兄妹のないお宅とか、或はお子さん

の御性質上大勢の中に交らせた方がよい場合には、幼稚園ほど結構な所はございません。こんなわけで、宅では別に學科の豫習復習に先生をお願ひしませんでも、兄妹同士教へ合つて入學試験の準備等を致して居ります。長女が幼い折等は、私自身が色々學習を見てやつて居りましたが、此頃は忙しいので少し注意してやりたいと存じましても、一向出來かねて居ります。其の代り兄さん姉さんの先生が澤山出來ましたので、子供達にまかせて居ります。私共では子供は身體の健全を第一と心掛けて居ります。それで學業の成績にも餘り干渉しませんし、又他様のやうに學校以外のお稽古も餘りさせませず、長女が女學校に居りました當時、音樂學校の久野先生からピアノを習はせて居りましたし、又其下の妹どもには近所のお琴の先生に通はせて置きましたが、それさへ身體がよくないやうですから、やめさせて居ります。毎年夏には、海岸につれてゆきまして海水浴をさせる事に致して居りましたが、今年は海水にもあまり入れず、海岸の空氣のよい所で、樂に暮させました。それは今年の二月頃、猩紅熱を長女がわづらひますと、運悪く五人の子供に傳染しまして、ぞろ

りと大學病院に入院しました時は、ほんごに驚きま  
してございます。幸ひにも皆丈夫になりましたが、  
こんなことからおぢ氣が立つて、今年は餘り海水に  
も浸しませんでした。庭には機械體操の道具を据ゑ  
て使用させるやうにしてをります。庭と申ししまし  
てもまことに狭うございますが、家屋をまるくとりま  
いて居りますので、子供等は走るのに便利でござい  
ます。以前は、日曜にはよく連れ立つて郊外散歩に  
出たのでございますが、このごろでは主人も私も忙  
しいので、出來なくなり、兄妹同士つれだつて行か  
せようと思つても、上の者が學校が忙しいのでつ  
ひお流れになりました、中々實行の出來ないのを殘  
念に思つて居ります。

身體の健全と同時に、正直に子供達の心を導きた  
いと思ひます。日本の社會が西洋に比まして元來  
不正直な所が多く、従つて日本の家庭でも色々不  
正直な事が行はれてゐます。子供達もそんな空氣に  
觸れて不正直な育て方をされて居ります。これを私  
は非常に嘆はしい事と思つて居ります。私共は、極  
めて放任主義に致しまして、無暗に叱つたり、禁じ  
たりせず、大抵の事は子供にまかせて居ります。そ  
の代り、正直に振舞ふやうにさせて置きます。外に

あらはれます行儀作法等の形の上の事におきまして  
は、他のお子さんとはくらべものならぬほど仕込  
みがございますが、心がかけひなたになつたり、  
ねぢつてゐたりはさせない積りで居ります。心さへ  
正直であつたら、形の上の事は大人になるにつれて  
出來ようと思つて居ります。餘り子供を束縛し過ぎ  
て、これもするな、あれもするな、と云つて居りま  
すと、正直といふことが等閑になるやうに思はれま  
す。兄妹の多い爲か、小學校等でよく天長節等の式  
日に下さるお菓子でも、自分だけこつそりと食べる  
といふ事はなく頂いてくれれば直ぐ其の事を話し、一  
口位に小さくなるまでわけ與へまして、お母さんに  
もと、食べても食べないでも變りない位のお菓子の  
片を持つてまゐります。之もつねから正直といふ事  
を教へてゐるからかと存じて、いつまでもこの心を  
失はなければよいと思つて居ります。

子供を正直に育てるといふ事で、一寸つけ加へて  
申し上げたいのは、召使ひに對しても同一の心掛け  
で居ります。召使ひも無暗に自由を束縛し干渉しま  
すと矢張り表裏がออกมาして、私共の前ではよく見せ  
かけて、外へ出てはひどい事をやるのが多いのでご  
ざいですが、これも子供の教育と同じ考へで、自由  
を與へ同情を有つて接してやれば、心持が正直にな  
るだらうと思ひます。召使ひにも「正直」といふ事を  
常に申し聞せて居ります。